



2012-2013 年度

国際ロータリー会長 / 田中 作次

2690地区ガバナー / 森田 昭一郎

会長 / 黒田 昌弘

幹事 / 釜屋 治男

副会長 / 飯塚 大幸

会計 / 河原 治子

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F

TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816

URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月16日	田中浩・内田 会員	地区協議会報告
5月23日	前出雲市教育長 中尾一彦 様	教育再生実行会議第二次提言を考える
5月30日	夜間例会 18:30 ~	

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
41	30	11 (4)	81.08 %	%

欠席者

河原 / 園山 / 園 / 石原俊 / 土江 / 恒松 / 大島治  
(山根 / 牧野 / 木村 / 田中久)

来訪者

なし

メークアップ

5/10 黒田・釜屋 (出雲南) 5/13 黒田・釜屋 (出雲中央)  
5/14 黒田・釜屋 (出雲) 5/15 黒田・釜屋 (大社)

次回例会受付当番

(5月30日) 持田祐輔 / 原 孝士 / 堀江卓男

(6月6日) 板垣文江 / 飯塚大幸 / 飯塚詔夫

近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)

(出雲)

(松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央 6/24	松江南 6/24
火	出雲 6/25	松江しんじ湖 6/18 6/25
水	大社	松江 6/19 6/26
木		松江東
金	出雲南 6/21(休)	

会長挨拶

所変われば品変わる

先週の5月10日から出雲南クラブ、出雲中央クラブ、出雲クラブ、大社クラブの近隣クラブに釜屋幹事とクラブ訪問をいたしました。

「所変われば品変わる」という格言のごとく、各クラブとも、平田クラブと多少式次第が違っていると感じました。当然、各クラブとも違うのは当たり前だと思いますが...

まず、出雲南クラブは、SAAが入口の所でお客様を迎えます。今月のお祝いは平田クラブと一緒にですが、お祝いの品物がなく、ただ、該当会員を紹介するのみです。しかし、スマイルが多かったです。たまたま、その日が多かった日かもしれませんが、また、中央クラブも出雲南クラブとあまり変わりませんが、スマイルが多かったです。中央クラブのもう一つの行事に、来客者に対して食事が済んだあと、「抹茶」が出されました。出雲クラブは、会の進行はSAAではなく、幹事が司会進行していました。大社クラブは当然に「拝礼」という行事があります。

8月2日の例会で、「他クラブにメークアップをしてはいかがですか」というスピーチをしましたが、他クラブを訪問して、そのクラブの良い所を吸収して、平田クラブ例会を素晴らしいものにしてはいかがでしょうか。

ただし、事前に事務局に連絡して出席の方がベターだと思います。

幹事報告

1. 松本裕二ガバナー・ノミネーより

ガバナー・エレクト事務所準備室開所のご案内

5/1より 益田商工会議所1F (益田市元町12-7)

2. 鳥居PDGより

昨年11月、「Object of Rotary」の訳が新たに「ロータリーの目的」(旧「ロータリーの綱領」となり、その本文訳は以下の通り改訂されました。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある:

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする;

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

尚、英語の原文に一切変更はございません。

翻訳改訂までの経緯につきましては、「ロータリーの友」2013年1月号18ページに掲載された記事をご参照ください。

委員会報告

クラブ広報委員会 : 「ロータリーの友」5月号の紹介

スマイル

黒田 (出雲クラブほか3クラブに幹事共々メークアップしてきました。)

釜屋 (平田囲碁クラブの曾田幹広君(向陽中1年)が島根県中学生名人に、森康太君(平田小5年)が島根県小学生名人になりました。)

杉原 (例会をたくさん休んでしまいました。)

スピーチ・例会行事

「地区協議会報告」

クラブ奉仕部門

内田節夫

午後からの部門別協議会、クラブ奉仕部門に参加しました。カウンセラーに、伊藤文利(パストガバナー)、他3名のリーダーにより進行されました。私の第一テーブルに参加したクラブは、第1グループから第4グループの12クラブでした。テーマは「クラブ奉仕活動の取り組みについて」として各クラブから、それぞれ工夫を凝らした特色ある活動が発表され、参考になりましたが、我が平田クラブの活動は、過去の実績から見ても幅広く、社会にとり有益で、バランスの取れた極めて模範的活動であると感じました。

今後も継続事業など含め、社会に共感を生む、クラブとしての奉仕活動をめざして行かねばなりません。そして、活動を通じロータリークラブをより多くの人々に認識いただき、組織の理解を求めてゆくことも課題の一つとおもいます。

<カウンセラー伊藤文利パストガバナーの講評>

ロータリーは勉強に始まり、勉強に終わる。

現在のロータリアンに必要なのは  
チェンジである。いかに時代の変化に対応して行くかである。

変化に対応することが出来る者  
だけが生き残る。

(CLPを理解する)



講評をよく理解し、活動に生かしてゆきます。

## 新世代奉仕部門

田中浩史

新世代奉仕活動の危機管理について、学生・青少年とともに行動するときには、ロータリークラブは主催者として社会的使命を持って、責任を全うしなければならない。

体育会系の事業、屋外での奉仕活動では事前の説明、しっかりとした保険を掛ける。会員の医師あるいは看護師を同席させる。

文化的行事、たとえば音楽会・コンサートなどでのリスクは一般的には想定されにくいですが、照明器具の落下、楽器の破損、ピアノを移動中に舞台から落下などの事例がある。

など、一般的に十分な危機管理を想定しなければならない。

また、ロータリー全般の危機管理としても当然のことながら、交通・自然災害・身体的・性的・精神的侵害ないし虐待(ハラスメント)に配慮が必要。たとえば、未成年者が参加の事業は酒や煙草は禁止する。米山奨学生を例会に招くときなごに、気のゆるみが生じる飲酒・喫煙・宗教的習慣(飲食・飲酒ほか)などしっかりとした理解と配慮が必要である。知らなかったでは済まない事例ある。

いずれにしても、ロータリアンは社会的使命としてすべての行動や事業に何事も紳士漸として対応しなければならない。

